

みずほCustomer Desk Report 2022/06/09 号 (As of 2022/06/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	132.88 AUD/USD
TKY 9:00AM	132.80	1.0698	142.06	1.2588	0.7222
SYD-NY High	134.48	1.0748	144.25	1.2597	0.7234
SYD-NY Low	132.61	1.0672	142.00	1.2515	0.7176
NY 5:00 PM	134.30	1.0717	143.89	1.2535	0.7190

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,910.90	▲ 269.24	日本2年債	▲0.0800%	▲0.0100%
NASDAQ	12,086.27	▲ 88.96	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	4,115.77	▲ 44.91	米国2年債	2.7760%	0.0423%
日経平均	28,234.29	290.34	米国5年債	3.0338%	0.0440%
TOPIX	1,969.98	22.95	米国10年債	3.0261%	0.0480%
シカゴ日経先物	28,150.00	▲ 60.00	独10年債	1.3520%	0.0675%
ロンドンFT	7,593.00	▲ 5.93	英10年債	2.2450%	0.0340%
DAX	14,445.99	▲ 110.63	豪10年債	3.5280%	▲0.0010%
ハンセン指数	22,014.59	482.92	USDJPY 1M Vol	12.35%	1.15%
上海総合	3,263.79	22.03	USDJPY 3M Vol	11.68%	1.07%
NY金	1,856.50	4.40	USDJPY 6M Vol	11.18%	0.91%
WTI	122.11	2.70	USDJPY 1M 25RR	0.37%	Yen Put Over
CRB指数	329.13	2.02	EURJPY 3M Vol	11.49%	0.64%
ドルインデックス	102.54	0.22	EURJPY 6M Vol	11.10%	0.55%

東京	東京時間のドル円は132.80レベルでオープンし、仲値にかけて上昇し133円を突破。その後、時間外取引の米10年債利回りが3%付近まで上昇したことで、一時133.30まで高値を更新。その後は利益確定の売りに押される場面も見られたが、133円近辺で堅調推移となり、結局133.15レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は133.15レベルでオープン。堅調なユーロ圏1Q実質GDP(確報値)の結果を受けユーロが買われる動きにユーロ/ドルは1.0740まで上昇するも、9日のECB理事会を控えていることや米長期金利の上昇を背景に上値幅は限定的。ドル円は黒田総裁の緩和継続を示す発言を受けて円売りの流れが続き一時134.13まで上昇、高値圏のまま133.96レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は132円台後半でスタート。緩和的な金融政策を継続する日本とインフレ対策で利上げを進める他国の金融政策の方針の違いが意識される中、円売り優勢の展開が継続。この日も黒田日銀総裁から緩和継続を示す発言が伝わったこともあいまって、一時134円台に乗せ、小幅反落後、133.96レベルでNYオープン。朝方は米長期金利の上昇を手掛かりにドル買いが強まり、ドル円は高値の134.48をつけるが、米金利上昇の局面が長続きせず、その後は133.60まで反落。午後は米10年債入札の軟調な結果を受けて米金利が再び上昇するとドル円もじりじりと上昇。9日にECB理事会、10日に米5月CPIの結果発表を控える中、終盤は動意が乏しくなり、結局、134.30レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロ/ドルは1.0700付近でスタート。米長期金利に3%に戻す動きが重しとなり、1.0672まで下落する場面もあったが、ユーロ圏の1Q実質GDP(確報値)が上方修正されたことを受けてユーロ買いが強まり1.07台半ば上昇後、1.0736レベルでNYオープン。朝方は1.0748まで買われるが、米金利の底堅い推移を重しとなり、1.0720近辺まで反落。9日のECB理事会を控え、午後は様子見ムードが強く、小動きが続く。結局、1.0717レベルでクローズ。

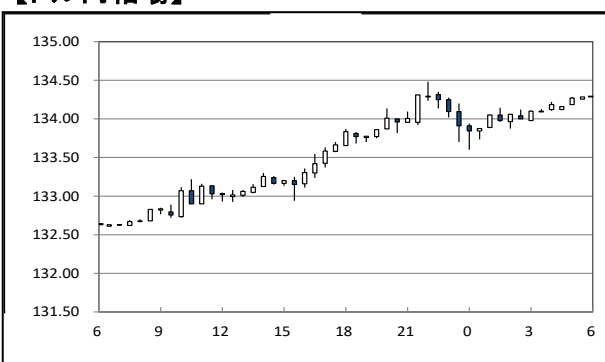
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月8日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	1Q -0.10%	-0.30%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	1Q -0.50%	-0.40%
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	4月 0.70%	1.20%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	1Q 0.6%/5.4%	0.3%/5.1%
	23:00	米 卸売在庫/売上高(前月比)・確報	4月 2.2%/0.7%	2.1%/-

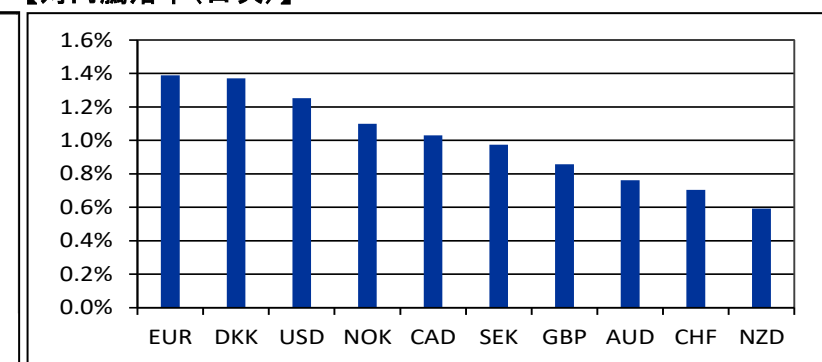
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月9日	20:45	欧 ECB主要政策金利	9-Jun 0.00%	0.00%
	20:45	欧 ECB預金ファシリティ・レート	9-Jun -0.50%	-0.50%
	21:30	欧 ラガルドECB総裁会見	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	4-Jun 207k	200k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.70-135.50	1.0670-1.0770	143.30-145.00

【マーケットインプレッション】

東京時間ドル円は、132.80レベルでオープン。時間外米長期金利の上昇を受け、133.30の高値を更新し、堅調推移のまま海外時間へ。日銀黒田総裁による金融緩和継続を示す発言を受け、ドル円は134円台を突破した後、米長期金利の上昇一服に伴い133.60まで反落。米長期金利が上昇に転じると、ドル円もじりじりと値を上げ、134.30レベルでクローズした。

本日のドル円は堅調推移を予想する。日米金融政策差が明確になっており、ドル円上昇圧力は継続するだろう。また、本日はECB政策理事会を控えており、ラガルド総裁の発言も含め欧州の更なる早期利上げへのスタンスが明確となれば、ユーロ円上昇にサポートされ、ドル円も一段と上昇する展開を想定しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・上遠野